

Crescendo

音楽祭特別号

vol.3

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

第22回 宮崎国際音楽祭

22nd
MIYAZAKI
INTERNATIONAL
MUSIC
FESTIVAL
2017

徳永二男音楽監督 Special Interview



徳永二男音楽監督 Special Interview

今年で22回目を迎える宮崎国際音楽祭。宮崎で成長してきたこの音楽祭では、素敵な音楽とともに、音楽が持つチカラや音楽祭の役割を実感する場面がいくつもありました。今年は、そんな音楽祭を象徴するようなプログラムが2つ予定されています。1つは、熊本での復興支援コンサート、もう1つは、昨年上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールで優勝した木嶋真優さんのリサイタルです。この2つのプログラムについて、徳永音楽監督に話をお聞きしました。

熊本地震復興支援

「**みらいをつくろうコンサート**」 | **5/11 木** | 17:30開演
会場：熊本県立劇場
※入場申込みの受付は終了しました。

今回の音楽祭では、熊本でのチャリティ・コンサートが予定されています。昨年は徳永さんだけの希望で、音楽祭の合間を縫って熊本地震の被災地で演奏されました。改めて、その時の想いや経緯を教えてくださいませんか。

🎙 宮崎入りする前から、熊本地震で被災された方々に、何かできることはないかという想いがありました。音楽祭のスケジュールは過密なので、時間を作るのは至難の業でしたが、宮崎入りしてから何とか時間を調整して、5月9日の午後から行けることになったんです。急遽、熊本県立劇場のスタッフの方と連絡を取ってもらい、被災地でのミニコンサートが実現しました。

会場までの移動も大変だったとお聞きしましたが、

🎙 車での移動でしたが、片側通行などで到着まで4時間以上かかりました。車の窓から、ブルーシートで覆われた屋根が見たところに見られ、地震の被害の大きさが見て取れましたね。会場は、熊本県立劇場の近所にある大江小学校の体育館で、前日まで避難場所として使われていた場所でした。

実際、会場の様子はいかがでしたか。

🎙 2日前のお知らせでしたが、400名以上の方が聴きにきてくださって本当にびっくりしました。スケジュールや移動など大変な部分もありましたが、喜んでくださっている皆さんの顔を見たら、本当に行って良かったなと思いましたね。約40分間の演奏でしたが、少しでも心を安らげる時間を過ごしていただければという想いで、「ツィゴイネルワイゼン」や熊本の民謡「五木の子守唄」などを演奏しました。

このコンサートがきっかけで、熊本県立劇場の「アートキャラバンくまもと*」が始まったそうですね。

🎙 昨年の僕の演奏が「アートキャラバンくまもと」の1回目となりましたが、その後も、熊本ゆかりのアーティストなどが積極的に参加されているようです。1回限りで終わるのではなく、アートによる復興支援がずっと続いているのはとても嬉しいです。



昨年、急遽開催された
熊本被災地慰問コンサートの様子

アートキャラバンくまもと*
…音楽や演劇などのアートを通して、被災した方々のこころのケアを目的とするもので、避難所や学校等に芸術家を派遣し、おでかけ公演やワークショップを行っている(3/31時点で133回実施)。

震災から1年が経ち、今年は宮崎国際音楽祭の一環として、熊本でチャリティ・コンサートを行います。

🎙 昨年の地震で、熊本県立劇場も大きな被害を受け、約4か月間休館を余儀なくされていました。今回は劇場で演奏を聴いていただけるので、とても嬉しいです。昨年はピアニストと2人だけでしたが、今回は、ヴァイオリンの巨匠ピンカス・ズーカーマンさんと管弦楽団と一緒に伺います。宮崎国際音楽祭のプログラムとして熊本で演奏できるというのは、私達にとっても大変意義のあることです。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

500円コンサートの日 コンサート7

徳永二男セレクション



「**木嶋真優ヴァイオリン・コンサート**」 | **5/3 水** | 18:30 開演
会場：演劇ホール

木嶋真優さん(ヴァイオリン)のソロリサイタルは、徳永さんのセレクションですね。

🎙 昨年、上海で開催された「アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクール」で見事優勝し、初代女王になった木嶋真優さんを、ぜひ宮崎の皆様にご紹介したいと思い出演を依頼しました。今回は、いわば、彼女の凱旋コンサートですね。

木嶋さんは、音楽祭と深い関係があるとお聞きしましたが、

🎙 そうなんです。実は、木嶋さんは、第1回・2回の宮崎国際室内楽音楽祭でアイザック・スターンのヴァイオリン講習会に参加されていた方なんです。当時小学3、4年生だったと思いますが、とても熱心な子で、あのアイザック・スターンも大変気に入っていましたよ。演奏家にとって必要不可欠な、自分を表現しようという気持ちが誰よりも強かったので、将来が楽しみだなと思っていました。

宮崎が結んだスターンとの縁。とてもドラマチックな話ですね。大人になった木嶋さんのヴァイオリニストとしての魅力は、どんなところにありますか。

🎙 彼女の演奏は、度々聴いていますが、やはり一番の魅

力は表現力ではないでしょうか。ドイツに渡って国内外の主要オーケストラとソリストとして共演していますし、人気演奏家ですよ。海外では、よく「日本人演奏家は、技術力は高いけどマシンのようだ」と新聞の批評で書かれたりするけど、木嶋さんには全くそういう所がないんです。彼女の豊かな表現力はとても素晴らしいですよ。

音楽祭では、アイザック・スターンがいた頃から現在に至るまで、形を変えながら教育プログラムを行ってきています。木嶋さんだけでなく、受講生だった方達が、いま優秀な演奏家として活躍していますね。

🎙 木嶋さんと同じく、スターンのヴァイオリン講習会に参加していた高橋和貴さんは、毎回音楽祭にも出演していますし、山形交響楽団ソロ・コンサートマスターとしても活躍中です。13回目の音楽祭から始まった「ミュージック・アカデミーinみやざき」の受講生の中からは、国際コンクールで優勝し、世界的に活躍している三浦文彰さんや小林美樹さんなど、優秀な若い演奏家も育ってきました。何よりも嬉しいのは、受講生だった子達が立派な演奏家として音楽祭に帰ってきてくれること。撒いた種が時を経て着実に実を結びはじめているように思います。

音楽祭に寄せて Message 木嶋 真優 Mayu Kishima (ヴァイオリン)



©Keiichi Suto

PROFILE 2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。2000年第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対しDavid Garrett賞も受賞した。現在日本とヨーロッパに拠点を置き、アメリカ、アジアにもその活動の場を拡げている。

アイザック・スターン氏のマスタークラスを受けたい!との一心で宮崎に向かった私は、幸運にも二回もヴァイオリン講習会を受けるチャンスに恵まれました。小さいころから憧れだった徳永二男先生の目の前で行われたオーディションなど、本当にたくさんの思い出があります。スターン氏からは、「小さいころから難しい曲を弾き過ぎず、常に原点に戻り一步一步積み上げるように」とアドバイスいただきました。大きくなるにつれ、その言葉の重みと重要さを感じた私は、目の前の華やかさや栄光に目がくらまないように、と常に自分に言い聞かせてきました。そんな中、昨年、上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールが発足。コンクールというものがずっと苦手で、もうやめようと思っていた矢先の出来事で、このスターン氏の名を打ったコンクールを人生最後のコンクールと決めて出場し、優勝させていただくことができました。今回、長い月日を経て、スターン氏の国際コンクール優勝記念というリサイタルで、この宮崎国際音楽祭に再び戻ってこられたことがとても感慨深く、この音楽祭から巣立った者として、聴きにきてくださる皆様に感謝の気持ちを込めて演奏したいと思います。



アイザック・スターン氏の
レッスンを受ける木嶋さん(1997年)

INFORMATION I

教育プログラム『新星たちのコンサート』の出演者決定！

三浦文彰さんをはじめ、これまで優秀な演奏家を輩出してきた音楽祭の教育プログラム『ミュージック・アカデミーinみやぎ』！今年も3月に約1週間にわたって豪華講師陣のレッスンを受講した60名の中から、優秀賞を受賞した6名がコンサート出演の切符を手に入りました！才能ある若手演奏家のフレッシュな演奏に、ぜひご期待ください♪



昨年の新星たちのコンサートの様子

5/13 土

新星たちのコンサート 会場：演劇ホール

開 場13:00 開 演13:30 (14:30終演予定) ※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

【料金】500円(自由席) ※音楽祭公演のチケット及び半券のご提示で入場無料

【出演者・曲名】

金子遥亮(チェロ)/G.カサド：無伴奏チェロ組曲より第1楽章

三浦舞夏(ピアノ)/スクリャービン：ピアノ・ソナタ 第2番嬰ト短調「幻想ソナタ」Op.19

東條太河(ヴァイオリン)/サン＝サーンス(イザイ編曲)：「ワルツ形式の練習曲」よりカプリース

北田千尋(ヴァイオリン)/サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリツィオーソ イ短調Op.28

五十嵐薫子(ピアノ)/ショパン：バラード 第3番 変イ長調Op.47

城戸かれん(ヴァイオリン)/パガニーニ：ロッシーニの歌劇『タンクレディ』より

アリア「こんなに胸騒ぎが」による変奏曲Op.13

INFORMATION II

音楽祭記念グッズのラインナップをご紹介します！

今年も、ここでしか手に入らないオリジナルグッズを販売します！ご来場の記念にお買い求めください♪



Tシャツ(白と黒の2種類)

- 音楽祭Tシャツ(白・黒) 各種2,000円
- メモ帳 200円
- クリアファイル 200円
- ポストカード(2種類) 各種150円
- てぬぐい 1,500円
- しおり 300円



クリアファイル(表) (裏)



手ぬぐい

INFORMATION III

“食”でも、音楽祭を盛り上げます！！

今年も、ボランティア会の皆さんが「ふぞろい茶屋」を開いてお客様をおもてなしします。そのほか、5/3(水祝)の『500円コンサートの日』には、正面入り口前に“キッチンカー”が並びますので、ぜひ、コンサートの合間に軽食や飲み物などをお楽しみください。また、音楽祭にちなんだ期間限定商品も！シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートの「風待ちベーカリー」と宮崎観光ホテルの「Prato」では、“音符パン”などが音楽祭期間中に販売されます！ぜひ、チェックしてみてください♪



「Prato」



「風待ちベーカリー」

INFORMATION IV

音楽祭へのプロローグ ～宮崎国際音楽祭事務局だより～

過去の緑陰コンサート(図書館主催)の様子



5/3水祝は、劇場の外にも音楽があふれます♪『500円コンサートの日』がある5/3水祝は、朝10:30から約1時間、図書館主催の「緑陰コンサート」(無料)も開催されます。県立図書館前の新緑に囲まれながら、宮崎北高等学校吹奏楽部のはつらつとした演奏と、アナウンサーによるプロの朗読をお楽しみください。



豪華対談が実現！

音楽祭のメインゲストの1人、ライナー・キュッヒルと徳永二男音楽監督による対談が実現。名コンサート・マスターとして活躍してきたお二人ならではのお話で盛り上がりました。対談記事は、音楽祭の公式プログラム(定価500円)に掲載しますので、ぜひご覧ください。



撮影：税田輝彦

音楽の咲く季節到来！

桜が舞い散る4/16(日)、劇場ボランティア会主催の『街角ミニコンサート』が、ボンバルタ橋ポケットパークで行われました！約300名のお客様が足を止め、宮崎市消防団音楽隊の活気あふれる演奏を楽しむ様子に、今年も音楽の咲く季節がやってきたと実感。音楽祭、まもなく開幕です！

お問合せ

宮崎国際音楽祭事務局 TEL.0985-28-3208

〒880-8557 宮崎市船塚3-210 公益財団法人 宮崎県立芸術劇場

Twitterとfacebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」お待ちしています。

第22回宮崎国際音楽祭

検索